

平成29年度スローガン

和

～小さな輪から
大きな和へ～



発行 秦野市PTA連絡協議会
 編集 秦野市PTA連絡協議会
 情報委員会
 事務局 秦野市立北中学校
 秦野市横野101
 TEL 75-1717
 印刷 (有)みうら印刷

出会いの数だけ学びがある PTAは大人の学び舎

市内22校より約200名が参加

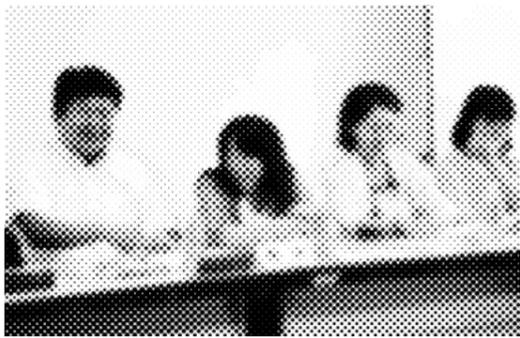
平成29年度 会員研修会

地域との関わりを深めるために

学校・PTA・地域のかかわり方について、各校の特徴あるイベントについて、

秦野市PTA連絡協議会主催の会員研修会が、6月22日(木)秦野市文化会館で開催されました。

市内の小・中学校から参加した会員が6分科会に分かれて、テーマに沿った意見・情報交換をしました。



この出会いもひとつの『和』

「学校の土地柄を、他校の良いところを真似するだけでなく、自校のものにする必要がある」とおっしゃいました。参加者は、各校の取り組み

目指そう 大きな『和』

秦野市P連会長

森谷 忠

平成29年度、秦野市PTA連絡協議会会長を仰せつかりました、森谷 忠です。

日頃より、単位PTAの活動、秦野市PTA連絡協議会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

『継続は力なり』わたしの好きな言葉です。PTA活動を継続することが難しくなっ

てきている今、時代に合った活動方法を見つけ、継続することが大切だと考えられます。

今年度のスローガンは『和』と小さな輪から大きな和へ』とし、他校の良い所を参考にし、各単P活動に生かしていただき、今年度は、さまざまな学校に足を運び、実際の状況を見る機会をつくらうと思いま

※関連記事 二面『会長さん

大人が変われば子どもも変わる

魅力あるPTA活動を求めて一人ひとりが輝くPTA

「子どもがプリントを持って来ないが、役員を通して知ることができるのでありがたい」「やってみれば楽しい」という声がありました。

委員選出の方法をメインに、3グループに分かれて議論しました。

「委員長を先に決めてから、委員を決める」や「前年度内に決めておく」と、4月からスムーズにスタートする」などが参考になったという声が多くあがりました。

校長(上小)は「『大人も繋がる』大人も学ぼう あなたも一歩踏み出してみて」とポップに呼びかけてはどうかしら？

PTAは大人が共に育ち学ぶ場所」とご助言くださいました。

引き継ぐことの大切さ

「役員をやって良かったこと」を主題とし、苦労したこと、選出方法の順で話が展開されました。

「日常的にあいさつができる子が増えれば、それが一番の防犯につながるのでは」といった声もありました。

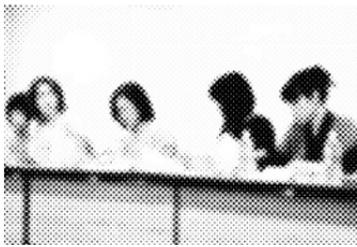
最後に校長(堀川小)は、「地域の方と一緒に話し合いの場を多く持ち、協力し合える環境づくりが必要」と締めくくられました。

育てよう子どもの自己肯定感

「子ども110番の家」

第六分科会 中学校

をお願いするにあたって



共に学び 共に成長

「素敵な人に出会って、その人の人柄から学んだとき、自分も磨かれる」と校長(大根中)がおっしゃいました。

時々笑いがあり、参加された方々が輝いた、建設的な話し合いの場になりました。

皆一人ひとりが協力し合えば、負担は軽減されていきます。

子どもたちを守るPTAの取り組み

防犯・防災・見守り活動

第五分科会 小学校

「あいさつをしない小学生が多い」という意見が出ました。特に、高学年に多く見られるようで、

「日常的にあいさつができる子が増えれば、それが一番の防犯につながるのでは」といった声もありました。

最後に校長(堀川小)は、「地域の方と一緒に話し合いの場を多く持ち、協力し合える環境づくりが必要」と締めくくられました。

育てよう子どもの自己肯定感

子ども110番の家

第六分科会 中学校

をお願いするにあたって

子育てと一緒に

市P連主催の広報技術講習会が平成29年5月12日(金)秦野市文化会館小ホールで開催されました。全国小・中学校PTA新聞コンクール審査員である武勝美先生を講師に迎えて行われました。

PTA広報紙には、子育てと一緒にする、学校へ足を運んでもらうことを後押しする役割があります。

その役割を生かすために、広報紙作りが大切である」と過去の紙面を見本に出しながら、丁寧に教えてくださいました。

実際に紙面を作るときは文字数やレイアウト、写真の撮り方など実務的なお話もされ、参加者は熱心に聴

き入っていました。

最後に、『楽しく作れば、楽しい紙面になる』と、今後の広報紙作りを盛り上げる言葉で締めくくられました。

楽しく作って読みたいくなる広報紙を ～広報技術講習会に175名が参加～

参加者からは「楽しく広報活動をやってみよう」「自分の子育てにも役立つお話しだった」という声が上がっていました。



熱心に聴く参加者

平成29年度 市P連本部役員

会長
副会長
会計
情報委員長
情報副委員長
顧問
事務局

事業計画

4月 市P連決算・予算総会
5月 事務局長会議
6月 広報技術講習会
7月 単P会長会議
8月 単P会長会議
9月 広報クリニックス
10月 第18回市P連会議
11月 はだのP連だより
12月 県P大会(秦野)

1月 市P大会
2月 会長・情報委員会合同会
3月 はだのP連だより
第113号発行
広報紙コンクール

山津波が起きたら...

北地区から学ぶ災害対策

知ることから始めよう

関東大震災で山津波が起きました。山津波とは、土石流が雪崩れ込む姿が津波のように見えることから呼ばれています。



北地区 防災マップ
自分の地域を 確かめよう

北小・中学校は県が指定する土砂災害区域の土石流エリアに指定されています。土砂災害に備え、北中では一昨年、秦野市



災害時は倉庫の横に 仮設トイレを設置

が建設した備蓄倉庫が土砂に埋もれないよう基礎を1m底上げしました。

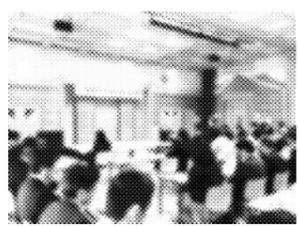
唐沢川上流には、秦野市がワイヤーセンサーを設置し、土砂災害が起きたときは、山辺保育園、北幼稚園、北小・中学校でサイレンが鳴ります。

平成29年度市P連スタート

決算・予算総会開催される

平成29年4月15日(土)本町公民館で、平成28年度決算総会、平成29年度予算総会が市内22の小・中学校PTA会長、情報委員、学校長出席のもとで行われました。

決算総会では事業決算報告、新年度役員が承認され、平成28年度市P連の活動が終了しました。



会員数 10816名(5/1現在)

また、平成28年度市P連広報紙コンクルールの表彰が行われ、その功績をたたえました。

予算総会には、来賓として教育長が参加され「水無川沿いの桜がきれいに咲き、花見の車で渋滞し

さらに付近の住民向けに防災行政無線のスピーカーから情報が流れるようになっていきます。毎年、避難訓練のときには、関東大震災の教訓から「大雨になったら土砂災害警戒区域から離れて避難するように」と校長は生徒たちに指導しています。

まずは我が家から

各小・中学校では、定期的に避難訓練を実施しています。



ご家庭にありますか? 『防災ハンドブック』

では、ご家庭ではどうでしょう。住んでいる地域ごとに危険な場所や避難方法は違うと思います。避難訓練に参加し、地域の人と関わり、安全な場所を確認し、家族で話し合うことが大切です。

今年度の秦野市総合防災訓練は、9月3日(日)に行います。広域避難場所23カ所全てで訓練が実施されます。今年度の合同訓練会場は、鶴巻小学校です。

今年度から避難所開設・運営訓練も実施される予定です。ご家庭でも安全を確認し、話し合い、地域の訓練に参加しましょう。

会長さんぽ

◆本町小バザー視察◆
開始してすぐ、各模擬店に長い列ができましたが、うちの番号や看板などで誘導し、行列を解消していたのが参考になりました。900食あった焼きそばが、なんと30分で完売とは、驚きでした!

祝

第66回全国小・中学校PTA新聞コンクール

【優秀賞・全国新聞教育研協議会賞】
東中「ぎんなん」

【佳作】
本町中「丹沢の風」

秦野市PTA広報紙コンクール

【優秀賞】
東中「ぎんなん」

本町中「丹沢の風」

【優良賞】
西小「西のいぶき」
北小「稜線」
本町小

「ほんちようの森」
西中「西中PTA陽光」
南中

「みなみPTAかけはし」
【佳作】
南小「さくら木」
洪沢小「しぶしよう」
南が丘小「南の風」

【奨励賞】
大根小「おおね」
鶴巻小「いっぽ」
大根中「大根中PTA」

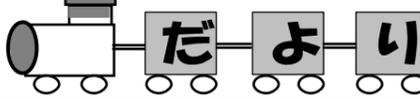
編集後記

「楽しく作れば楽しい紙面になる」武先生のお話の通り、楽しんで作りまわした。楽しい紙面になっているでしょうか? 仕事をしながらPTA活動をする人が増え、「PTA」を見直す時代となつています。スマホなどの機能を利用しながら、最小限の編集会議で作り上げました。

この紙面を一緒に作りあげたメンバーにも、今では新しい「和」がつくられています! **【編集委員】** □□□□(広畑小) □□□□(堀川小) □□□□(大根中) □□□□(東中) □□□□(西中) □□□□(末広小) □□□□(東小) □□□□(大根小)

情報委員会

NO.12



平成29年度の人数

小学校: 8187名
中学校: 4029名

秦野市全体の最大人数

小学校: 昭和59年 15193名
中学校: 昭和62年 7915名

少子化が進むにあたり、各校の児童・生徒数の一番多い年と今年度を比べてみました。秦野市でも少子化の波は止まりませんが、PTA一丸となって大きな『和』にしていきたいと思います!

学校名 今年度人数 創立年 最大の年度 最大の人数	丹沢はだの三兄弟 丹沢あゆみ 	本町小学校 737名 明治6年 昭和34年 2707名	南小学校 1149名 明治25年 昭和56年 1771名	東小学校 550名 大正12年 昭和60年 1052名	北小学校 760名 明治6年 昭和61年 1193名	丹沢はだの三兄弟 丹沢すすむ 	大根小学校 575名 明治33年 昭和59年 1646名	西小学校 694名 大正10年 昭和56年 2265名
上小学校 69名 明治6年 昭和34年 360名	広畑小学校 203名 昭和50年 昭和57年 1329名	洪沢小学校 783名 昭和50年 昭和58年 2046名	丹沢はだの三兄弟 丹沢のぼる 	末広小学校 660名 昭和52年 昭和57年 1315名	南が丘小学校 731名 昭和57年 平成7年 905名	堀川小学校 449名 昭和57年 昭和59年 878名	鶴巻小学校 827名 昭和58年 昭和62年 1181名	秦野市食育 キャラクター ポンチーヌ
本町中学校 639名 昭和22年 昭和37年 1481名	南中学校 516名 昭和22年 昭和56年 728名	東中学校 304名 昭和22年 昭和63年 569名	北中学校 383名 昭和22年 平成元年 630名	大根中学校 402名 昭和22年 昭和60年 1839名	西中学校 647名 昭和22年 昭和58年 2002名	南が丘中学校 352名 昭和57年 平成6年・7年 544名	洪沢中学校 402名 昭和59年 昭和62年 1073名	鶴巻中学校 384名 昭和61年 昭和62年 968名

※平成29年5月1日現在